



岩出山高校のみなさん、**新年明けましておめでとうございます。**進路部長の藤島です。

私事ですが、昨年12月末では、インフルエンザにかかってしまい、例年年末に発行するはずの「進路部だより」が出せなくなってしまい、3年生の近況をお知らせすることなく、年を越してしまいました。

また、各方面で、大変ご迷惑をおかけしました。今年は心機一転、みなさんの進路達成のためにこれまで以上に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

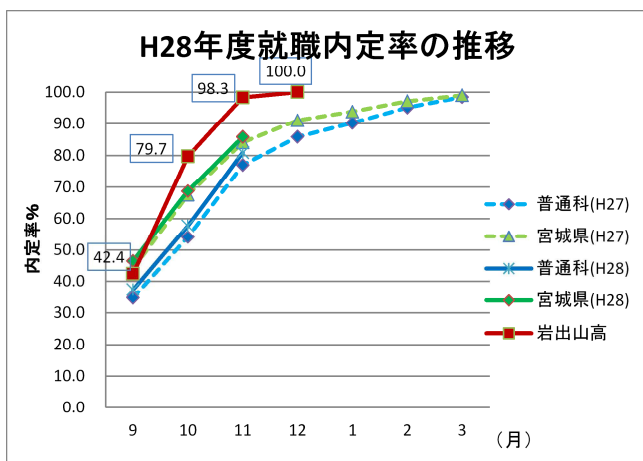
さて、年が変わり、今年度も残りわずかとなりました。現在の3年生の進路状況ですが、就職の方は昨年12月末でみごと全員内定しました。後は、若干名の進学希望者を残すのみです。1月末には、大崎市医師会附属准看護学校の入学試験が控えており、病院での内定をもらった生徒たちも含め、今年は4名が受験することになっており、全員、入試に向けて現在猛烈に頑張っています。

2年生諸君は、もう他人事ではなくなっていますよ！進路を決め、応募先を考え、今年の9月に就職試験、今年の10～11月に専門学校・短大・大学などの推薦入試を受験するのは、君たちなのですから！

「3年になってから考えよう。。」では、遅いです。まずは3年生となる未来の自分の足を引っ張らないように、学年末考査に向けて全力で取り組んでください。これは1年生も同じです。学年末で出た成績が今後高校を卒業した後でもずっと残っていきます。自分の将来のために、この学年末、やれるだけのことはやりましょう。

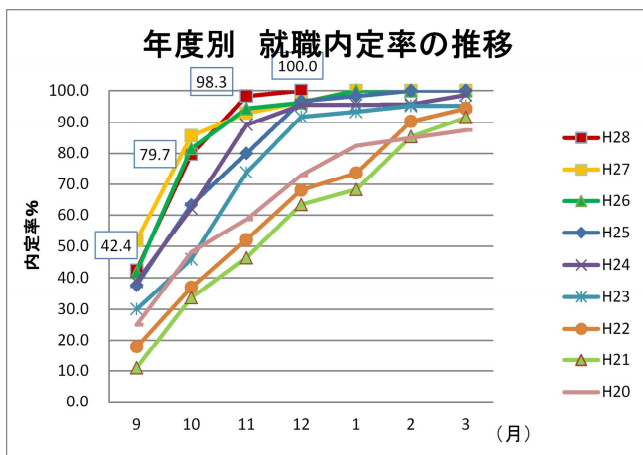
◆3年生の進路状況

◇就職、年内に内定率100%！～過去最速の内定速度！



就職では、11月上旬の時点で未定者は後1人となり、去年の12月末に最後の1人が内定し、見事100%となりました。

9月での内定率では、県平均が46.5%に対して本校は42.4%と若干遅れた感じがありましたが、これはたまたま本校生徒が応募した会社が結果を出すのが遅いところが多かっただけのこともあり、翌10月では逆に県平均を10ポイント以上（県の普通科高校だけで比較すれば20ポイント以上）上回るかたちとなり、11月末では、もう一気に100%に達しようという勢いでした。これは、本校の過去の内定状況と比較しても11月時点で過去最高の値となりました。



例年は、就職希望者全員が内定を決めるまでにはなんだかんだと1～2人くらいは年をまたぐことになってしまい、年内で内定100%に達したのは本校としては過去最速となります。

◇でも、内定スピードよりも内容が大事！

まあ、こうやって、ことさらに進路が決定する早さを強調したりしますが、それは条件の良い人気の求人が早くに充足してしまうこともあり、そういう意味では早い段階で内定が決まることは喜ばしいことではあります。言うまでもなく、それよりも進路を決める本人がしっかり納得のいく応募先を決めたことが大事です。就職に内定することは

は、ただの出発点であって、本当の問題は、その**内定した就職先でいかに仕事を続けていくのか**が重要です。そういう意味でも自分が納得できる仕事に就くことが第一歩といえます。しかし、早くに内定が決まっても、4月から働き始めて、1～2ヵ月で辞めてしまうのであれば、まったく意味がありません。できれば、内定した初めての就職先では最低3年以上は勤めてほしい。それは、一般的に3年未満ではその仕事をしっかり勤めたとする

実績としては認識されないからです。仮に転職した場合、転職先の企業が中途採用する際、**どこでどのくらいの期間を勤めて、その職場でどのような技術を身に付けたかという実績**が問われることとなります。どんな深い事情で辞めたにせよ、履歴上では「同じ職場に3年もたなかった」という事実しか残りません。3年生諸君は、卒業してからが本番です。はじめに与えられる職場環境がどんなところであったとしても、ぜひ頑張って勤め続けてください。

◇進学でも大健闘！

進学の方も看護系であとわずか残すのみとなりました。冒頭でも述べましたが、大崎市医師会附属准看護学校の入試が1月21日（土）にあり、今年は病院での就職内定も含めて4名が受験に向けて、現在、猛烈に頑張っています。昨年は過去最多の7人が受験し全員合格しました。今年も全員合格してもらいたいですね！

さて、その他、進学方面で特筆すべきは、東北文化学園大の看護科と仙台青葉短大のこども学科にそれぞれ合格者が出たことです。ここは、指定校の枠がないためにAOや公募推薦でがんばらなければならないところです。両者ともAOではダメでしたが、めげずに公募推薦で挑戦し、例年倍率の厳しいところですが、みごとに合格を勝ち取りました。

また、来年4月から仙台に新しく葵会仙台看護専門学校が開校することになり、本校はその指定校推薦枠を1名いただけることになり、合格しています。また、看護系では仙台赤門短期大学看護学科が次年度（平成30年4月）開校予定となっています。今年の2年生からは、看護師になりたいという生徒にとっては受験の可能性が広がることは喜ばしいことです。

平成28年度3学年進学先一覧

大学： 東北学院大（文学部総合人文学科）、宮城学院女子大（学芸学部英文学科・学芸学部日本文学科）

仙台大（体育学部健康福祉学科）、石巻専修大（人間学部人間教育学科）、

東北文化学園大（医療福祉学部看護学科）

短大： 仙台青葉学院短期大学（ビジネスキャリア学科・こども学科）、宮城誠真短期大学（保育科）

専門など： 葵会仙台看護専門学校（看護科）、東北職業能力開発大学校（住居環境科）

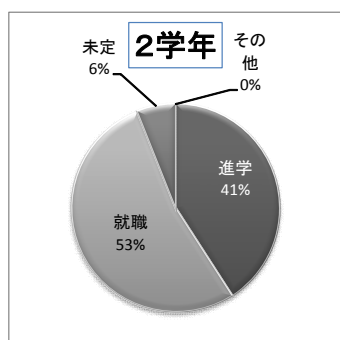
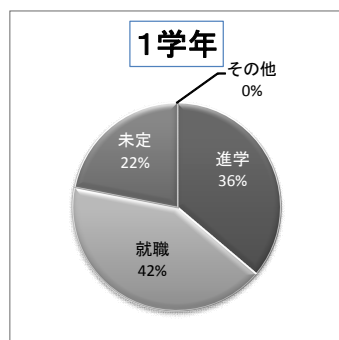
花壇自動車整備（自動車科）、仙台医健（視能訓練科）、仙台医療秘書福祉（医療事務科）、

仙台医療福祉（介護福祉科）、仙台ウェディング&ブライダル（ウェディングプランナー科）、

仙台大原簿記（公務員）、仙台こども（こども総合学科）、仙台コミュニケーションアート1（音楽コミュニケーション科）

仙台総合ビジネス公務員（総合公務員科）、仙台ヘアメイク（美容本科）、仙台理容美容（美容科）

◆1・2年の進路希望状況 ～専門学校への進学希望は要注意！



右の円グラフは、11月に実施した現在の1・2年生の進路希望調査の集計結果です。

1年生は進学希望、就職希望、未定がほぼ3等分の形になってますが、これはほぼ例年通りの傾向です。来年度2年生になって、この未定の生徒たちのほとんどが就職希望に流れていくのが例年の流れです。しかし、現在の2年生では若干進学が多くなっており、進学と就職がほぼ同数の状態です。少々気になるところは、

その進学の内訳を見ると41%中30%が専門学校への進学希望になっているところです。1年では36%中29%が専門学校進学希望です。専門学校は現在ほとんどのところが無試験で書類審査と面接だけで入学金と授業料さえ払えれば割と簡単に合格できます。しかし、「まだ社会に出て働く自信がないから」という消極的な理由で専門学校を選ぶと**人生の選択として大きな間違いにつながる危険性**があります。文字通り専門学校はある特定の分野について専門的に勉強する学校なので、「〇〇になりたい」という強い意志と目標がなければ勉強についていなくなることもあり、なんの資格も取れず、どこにも就職できず、そのまま卒業してしまい、結局、無職という卒業生が過去に何人もいます。専門学校進学希望者は、特に、ご両親とよく話し合い、将来何になりたいのか、具体的にしっかりした目標を定め、学費などの経済的な面での支援も含めてしっかり了承してもらう必要があります。**自分の将来の事です。学年末のこの時期、就職も進学も今一度真剣に見つめ直してみることも大事です。**